

報 道 資 料

令和3年11月4日

福祉医療部企画管理室企画調整係

担当：田中（聡）、田中（文）

ダイヤルイン：0742-27-8641

内線：2956、2958

“小さな灯”^{ともしび} 基金 贈呈式の開催について

Daigas グループは、昭和56年から“小さな灯”^{ともしび}運動として、企業ボランティア活動を展開されており、その活動の一環として、福祉教育施設への物品の寄贈活動を継続されています。＜資料1＞

今回は、中央こども家庭相談センター、精華学院および藤の木学園に対し、総計10万円相当の物品を寄贈していただくことになりました。

つきましては、下記のとおり贈呈式を開催します。（例年、4月頃に実施していますが、今回は、新型コロナウイルス感染症の影響で、延期しております。）

記

【日 時】 令和3年11月10日（水） 午前10時～10時30分

【場 所】 奈良県庁本庁舎3階 福祉医療部長室

【寄贈品】 家電製品等（資料2参照）

【出席者】

＜寄贈者＞

大阪ガス（株） 奈良地区支配人 田中 雅人 様
東部・奈良地域共創チーム 課長 真鍋 義人 様

＜受贈者＞

奈良県 福祉医療部長 石井 裕章
こども・女性局長 金剛 真紀

【内 容】 目録の贈呈

※取材を希望される場合は、社名、氏名等を11月8日（月）までに福祉医療部企画管理室企画調整係までご連絡ください。

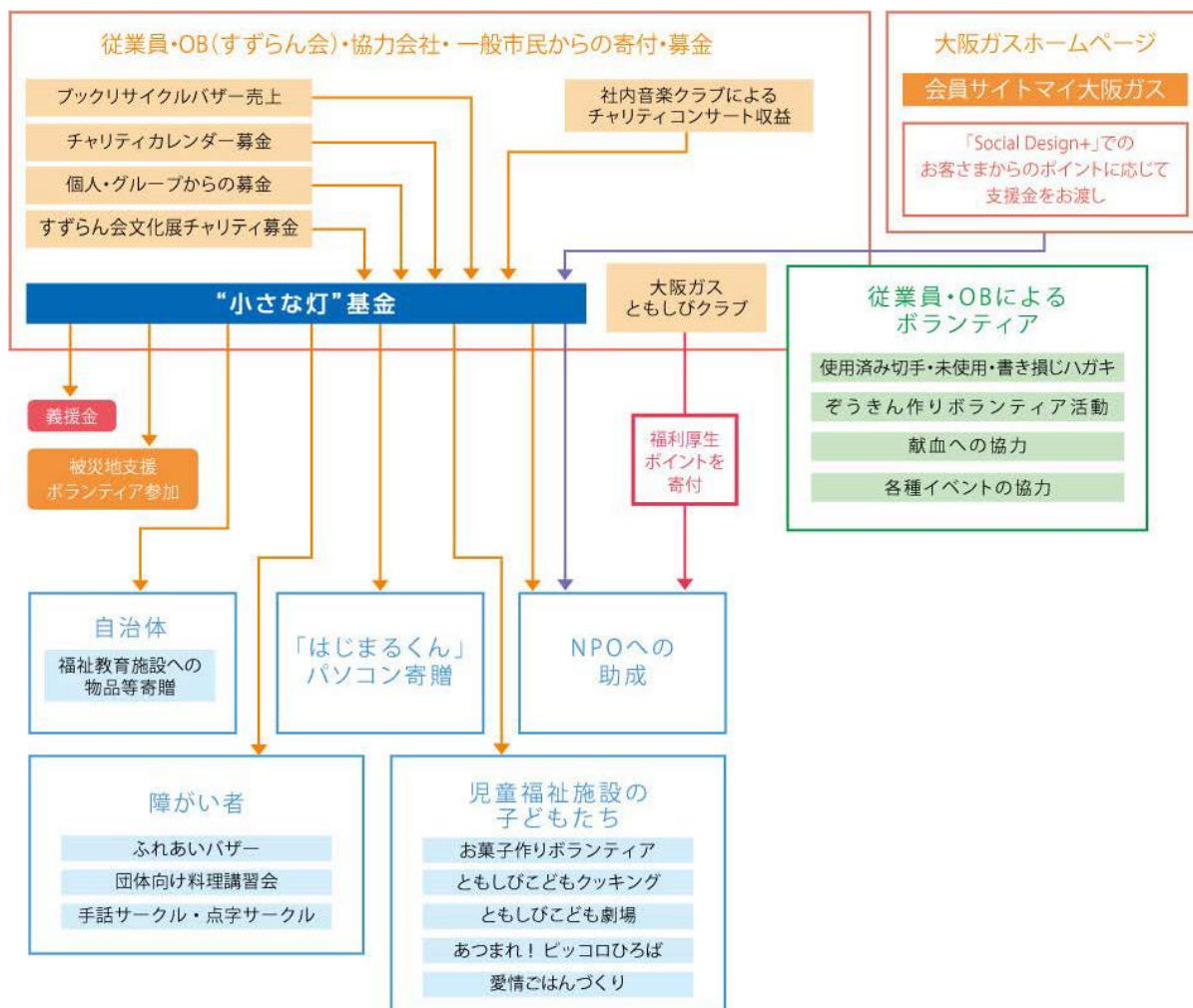
別添資料 <資料1> Daigas グループ “小さな灯” 運動の概要
<資料2> Daigas グループ “小さな灯” 運動 「小さな灯」基金からの寄贈物品の概要について



“小さな灯”運動 シンボルマーク

- “小さな灯運動”は、昭和56年（1981年）の国際障害者年に、大阪ガスグループ各社と従業員等からの寄付で発足した社会貢献活動。
- 「私たち一人ひとりが身近なことに関心を持ち、地域社会のさまざまな問題の解決に自らの意思で積極的に取り組んでいこう」という考え方にに基づき、社員が自主的に活動を企画し、参加し、続けていく点が、運動の特徴。
- 発足後30年以上にわたって、児童福祉施設の子どもたち、高齢者、障がい者、災害被災者等への支援活動を継続。
- “小さな灯”基金は、“小さな灯”運動の開始と同時に創設され、災害義援金や社会的課題に取り組む団体への財政支援に役立てられている。

▼ “小さな灯”運動のスキーム



Daigas グループ “小さな灯” 運動 “小さな灯” 基金からの寄贈について

所属名等	金額（税込）	寄 贈 品	備考
奈良県中央こども家庭相談センター	26,400円	ポータブルDVDプレーヤー（4台） WINTECH 形式：DVD-730F	一時保護をしている児童は外出が制限されているため、DVD の鑑賞は貴重な楽しみの一つである。幅広い年齢層の児童の希望に対応するのに、多数のプレーヤーが必要なため。
奈良県立精華学院	29,975円	乾湿両用集塵機（1台） マキタ 形式：VC1500	毎日の学院愛の清掃に使用しているため
奈良県立藤の木学園	39,600円	ポータブルDVDプレーヤー（6台） WINTECH 形式：DVD-730F	施設の統合によるユニット化で児童が居室で過ごすことが増えたことと、新型コロナウイルスの影響による個室での対応が必要となっているため。
計	95,975円		